

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ設置者	ガクコホウジシニイカクカクキジユウカケン 学校法人 新潟科学技術学園								
フリガナ大学の名称	ニイガタキョウカクガクイカクイン 新潟薬科大学大学院 (Graduate School of Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences)								
大学本部の位置	新潟県新潟市秋葉区東島字山居265番地1								
大学の目的	新潟薬科大学は、教育基本法及び学校教育法の精神にのっとり、薬学及び生命科学に関する教育研究を行い、有為の人材を育成して、人類の福祉と文化の向上に貢献することを目的とする。								
新設学部等の目的	薬学研究科は講義及び研究活動を通じて薬学分野における研究能力を培い、研究者並びに医療薬学・臨床薬学分野における指導者を育成することを目的とす								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	薬学研究科 [Graduate Course of Pharmacy] 薬学専攻 [Division of Pharmacy] 博士課程	年	人	年次 人	人	博士 (薬学)	平成24年4月 第1年次	新潟県新潟市秋葉区 東島字山居 265番地1	
	計		3		12				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	新潟薬科大学大学院 薬学研究科 薬学専攻 博士後期課程(廃止) (△ 9) ※平成24年4月学生募集停止 新潟薬科大学 応用生命科学部 応用生命科学科の設置 (120) ※平成23年8月届出済み 応用生命科学部 応用生命科学科(廃止) (△ 60) 食品科学科(廃止) (△ 60) ※平成24年4月学生募集停止								
	教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
	薬学研究科 薬学専攻 博士課程	講義	演習	実験・実習	計	35単位			
教員の組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設分	薬学研究科 薬学専攻 博士課程	教授 (18)	准教授 (7)	講師 (0)	助教 (0)	計 (25)	助手 (0)	兼任 (0)
		計	16人 (18)	7人 (7)	0人 (0)	0人 (0)	23人 (25)	0人 (0)	0人 (0)
	既設分	薬学研究科 薬学専攻 博士前期課程	0人 (18)	0人 (8)	0人 (0)	0人 (7)	0人 (33)	0人 (0)	0人 (0)
		薬学研究科 薬学専攻 博士後期課程	0人 (18)	0人 (3)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (21)	0人 (0)	0人 (0)
		応用生命科学部 応用生命科学専攻 博士前期課程	13人 (12)	0人 (2)	0人 (0)	3人 (3)	16人 (17)	0人 (0)	0人 (0)
		応用生命科学部 応用生命科学専攻 博士後期課程	12人 (11)	0人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	12人 (13)	0人 (0)	0人 (0)
		薬学部 薬学科	20人 (23)	11人 (11)	1人 (1)	9人 (9)	41人 (44)	6人 (6)	27人 (27)
		応用生命科学部 応用生命科学科	14人 (13)	2人 (4)	0人 (0)	8人 (8)	24人 (25)	1人 (1)	35人 (11)
		応用生命科学部 応用生命科学科	0人 (6)	0人 (1)	0人 (0)	0人 (4)	0人 (11)	0人 (1)	0人 (26)
	応用生命科学部 食品科学科	0人 (6)	0人 (2)	0人 (0)	0人 (4)	0人 (12)	0人 (1)	0人 (26)	
	計	34人 (36)	13人 (15)	1人 (1)	17人 (17)	65人 (69)	7人 (7)	62人 (38)	
	合計	34人 (36)	13人 (15)	1人 (1)	17人 (17)	65人 (69)	7人 (7)	62人 (38)	

平成23年8月届出済み

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計		
	事 務 職 員		22人 (22)	8人 (8)	30人 (30)		
	技 術 職 員		11人 (11)	0人 (0)	11人 (11)		
	図 書 館 専 門 職 員		1人 (1)	2人 (2)	3人 (3)		
	そ の 他 の 職 員		0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)		
計		34人 (34)	10人 (10)	44人 (44)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校 舎 敷 地	74,464 m ²	0 m ²	0 m ²	74,464 m ²		
	運 動 場 用 地	14,941 m ²	0 m ²	0 m ²	14,941 m ²		
	小 計	89,405 m ²	0 m ²	0 m ²	89,405 m ²		
	そ の 他	6,026 m ²	0 m ²	0 m ²	6,026 m ²		
合 計	95,431 m ²	0 m ²	0 m ²	95,431 m ²			
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		35,075 m ² (35,075 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	35,075 m ² (35,075 m ²)		
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	16室	8室	35室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数			
		薬学研究科 薬学専攻 博士課程		25 室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点
	薬学研究科 薬学専攻 博士課程	14,910 [2,380] (14,670 [2,340])	38 [18] (38 [18])	14 [14] (14 [14])	221 (201)	356 (296)	0 (0)
	計	14,910 [2,380] (14,670 [2,340])	38 [18] (38 [18])	14 [14] (14 [14])	221 (201)	356 (296)	0 (0)
	学部及び 研究科全体 共用電子ジャーナル 301種						
図 書 館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数	
		1,127 m ²		239 席		76,258 冊	
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要			
		1,530 m ²		テニスコート3面		多目的グラウンド	
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
		教員1人当り研究費等		1,700千円	1,700千円	1,700千円	1,700千円
		共同研究費等		14,649千円	14,649千円	14,649千円	14,649千円
		図書購入費	38,362千円	38,362千円	38,362千円	38,362千円	38,362千円
		設備購入費	25,000千円	25,000千円	25,000千円	25,000千円	25,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次		
	600千円	400千円	400千円	400千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			上記以外の収入としては、私立大学等経常費補助金、科学研究費補助金をはじめとする競争的研究資金、民間企業からの奨学寄付金等がある。今後は、産官学共同研究を行う体制を発展させることによって、学納金への依存度をさらに減らすよう努めることとする。				
学部及び 研究科全体 共同研究費には受 託研究費を含む。 図書館には電子 ジャーナル・データ ベースの整備費（運用 コストを含む）を 含む。 外国書は 電子ジャーナル化。							

既設大学等の名称	新潟薬科大学大学院									所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
既設大学等の状況	薬学研究科 薬学専攻 博士前期課程	2	-	-	-	修士 (薬学)	-	平成3年度	新潟県新潟市秋葉区 東島字山居265番地1	薬学研究科薬学専攻博士前期課程は、平成22年度より学生募集停止。	
	薬学研究科 薬学専攻 博士後期課程	3	3	-	9	博士 (薬学)	0.77	平成7年度	新潟県新潟市秋葉区 東島字山居265番地1		
	応用生命科学研究科 応用生命科学専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (応用生命科学)	2.43	平成18年度	新潟県新潟市秋葉区 東島字山居265番地1		
	応用生命科学研究科 応用生命科学専攻 博士後期課程	3	3	-	9	博士 (応用生命科学)	1.44	平成21年度	新潟県新潟市秋葉区 東島字山居265番地1		
既設大学等の名称	新潟薬科大学									所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
既設大学等の状況	薬学部 薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.11	平成18年度	新潟県新潟市秋葉区 東島字山居265番地1	新潟県新潟市秋葉区 東島字山居265番地1	
	応用生命科学部 応用生命科学科	4	60	-	240	学士 (応用生命科学)	1.13	平成14年度	新潟県新潟市秋葉区 東島字山居265番地1		
	応用生命科学部 食品科学科	4	60	-	240	学士 (応用生命科学)	1.13	平成14年度	新潟県新潟市秋葉区 東島字山居265番地1		
既設大学等の名称	新潟工業短期大学									所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
既設大学等の状況	自動車工業科	2	160	-	320	短期大学士 (工学)	0.92	昭和43年度	新潟県新潟市西区 上新栄町5丁目 13番7号		
附属施設の概要		[薬用植物園] ・本園（新潟県新潟市秋葉区東島） 見本園として、用地3,026㎡、温室1棟135.32㎡、管理棟125.24㎡ ・五頭分園（新潟県阿賀野市畑江） 自然薬用植物園として、用地3,000㎡									

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

教育課程等の概要

（薬学研究科薬学専攻博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 選択 科目	基礎薬学領域 医薬品化学特別講義	1～4前		2		○			2	1					
	医薬品素材学特別講義	1～4前		2		○			1						
	医薬品物性学特別講義	1～4前		2		○			2	1					
	医療薬学領域 医薬品作用学特別講義	1～4前		2		○			2						
	病態生化学特別講義	1～4後		2		○			2	2					
	健康衛生科学特別講義	1～4後		2		○			2	1					
	臨床薬学領域 医薬品情報学特別講義	1～4後		2		○			1	1					
	臨床分析化学特別講義	1～4後		2		○			1						
	臨床薬物動態学特別講義	1～4前		2		○			1	1					
	臨床薬物治療学特別講義	1～4後		2		○			2						
	臨床薬剤学特別講義	1～4前		2		○			2						
	特別授業 がん薬物療法特別授業	1・3前		2		※	○		2						オムニバス
	糖尿病薬物療法特別授業	1・3後		2		※	○		1						オムニバス
	感染症制御特別授業	2・4後		2		※	○		1	1					オムニバス
	緩和薬物療法特別授業	2・4後		2		※	○		2						オムニバス
	精神科薬物療法特別授業	1・3後		2		※	○		1						オムニバス
	妊婦・授乳婦薬物療法特別授業	1・3前		2		※	○		1						オムニバス
	レギュラトリーサイエンス特別授業	1～4後		2		※	○		2						オムニバス
	予防薬学特別授業	2・4前		2		※	○		2						オムニバス
	循環器疾患治療特別授業	2・4前		2		※	○		2						オムニバス
	臨床医薬品副作用学特別授業	2・4前		2		※	○		2						オムニバス
	応用生命科学 動物細胞工学特殊講義	1・3前		1		○			1						兼1
	RNA治療学特殊講義	1・3前		1		○			1						兼1
	ケミカルバイオロジー特殊講義	2・4前		1		○			1						兼1
	植物分子細胞学特殊講義	1・3前		1		○			1						兼1
	環境工学特殊講義	2・4前		1		○			1						兼1
グリーンケミストリー特殊講義	1・3後		1		○				1					兼1	
応用微生物学特殊講義	1・3後		1		○				1					兼1	
食品分析学特殊講義	1・3後		1		○				1					兼1	
栄養生化学特殊講義	2・4前		1		○				1					兼1	
グリーンプロセス・食品工学特殊講義	2・4前		1		○				1					兼1	
食品安全学特殊講義	2・4後		1		○			1						兼1	
応用糖質化学特殊講義	1・3後		1		○			1						兼1	
分子科学特殊講義	2・4後		1		○				1					兼1	
小計（34科目）		—	0	55	0	—	—	—	18	7	0	0	0	兼13	
必修科目	総合科目 薬学特別演習	1～4通	8					○	18	7					
小計（1科目）		—	8	0	0	—	—	—	18	7	0	0	0		
必修科目	総合科目 薬学特別実験	1～4通	21					○	18	7					
小計（1科目）		—	21	0	0	—	—	—	18	7	0	0	0	兼13	
合計（36科目）		—	29	55	0	—	—	—	18	7	0	0	0	兼13	
学位又は称号		博士（薬学）		学位又は学科の分野			薬学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
修了要件は、4年以上在学して35単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、優れた業績をあげた者の在学期間については、3年在学すれば足りうるものとする。履修方法は、4年以上在学し、指導教員の指導に従って所定の単位を修得し、博士論文を提出し、かつ、最終試験を受けなければならない。						1 学年の学期区分			2 学期						
						1 学期の授業期間			1 5 週						
						1 時限の授業時間			9 0 分						

教育課程等の概要															
(薬学部薬学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養必修科目	英語リスニングⅠ（英語Ⅰ）	1前	1			○									兼2
	英語リーディングⅠ（英語Ⅱ）	1前	1			○					1				兼2
	英語リスニングⅡ（英語Ⅲ）	1後	1			○									
	英語リーディングⅡ（英語Ⅳ）	1後	1			○					1				
	保健体育理論	1前	1			○			1						
	原子や分子の構造（基礎化学）	1前	1			○				1					
	薬学の基礎物理（物理学）		1			○			1						
	微分積分		1			○				1					
	統計解析		1			○				1					
	情報リテラシ（情報科学概論・同実習）	1前	1			※	○		1	1					
	体育実技Ⅰ	1前	1					○	1						兼1
	体育実技Ⅱ	1後	1					○	1						兼1
小計（12科目）	—	—	12	0	0	—	—	—	3	3	1				兼6
教養選択科目	外国語AⅠ	2前		0.5		○									
	外国語AⅡ	2後		0.5		○									
	外国語BⅠ	2前		0.5		○									兼1
	外国語BⅡ	2後		0.5		○									兼1
	外国語CⅠ	2前		0.5		○									兼1
	外国語CⅡ	2後		0.5		○									兼1
	外国語DⅠ	2前		0.5		○									開講せず
	外国語DⅡ	2後		0.5		○									開講せず
	人文社会A	2前、6前		1		○									兼1
	人文社会B	2前、6前		1		○									兼1
	人文社会C	2後、6前		1		○									兼1
	人文社会D	3前、6前		1		○									兼1
	人文社会E	3後、6前		1		○					1				
	人文社会F	4前、6前		1		○									兼1
小計（14科目）	—	—	0	10	0	—	—	—			1				兼6
自然科学系	薬学の基礎生物（生物学Ⅰ）	1前	1			○				1					
	基礎微分積分	1前	1			○			1						
	基礎統計解析	1後	1			○			1						
	小計（3科目）	—	—	3	0	0	—	—	1	1					
	薬学への招待Ⅰ	1前	0.5			○			3	2					オムニバス
	薬学への招待Ⅱ	1前	0.5			○			3	2					オムニバス
	薬学への招待Ⅲ	1前	0.5			○			1						
	薬学への招待Ⅳ	1後	0.5			○			3						
	疾患と薬学（薬学入門）	2前	1			○				2					
	生命の大切さ（倫理とコミュニケーションⅠ）	1後	1			○				1					兼1
	症候と疾患（疾病と症状）	2前	1			○			1						
	物質の構造と状態（基礎物理化学）	1後	1			○			1						
	平衡の理論（薬品物理化学Ⅰ）	2前	1			○				1					
	反応速度論（薬品物理化学Ⅱ）	2後	1			○				1					
	物理化学から見た薬	6前	1			○	※		3	1		1			オムニバス
	化学平衡	1後	1			○				1					
	物質濃度の測定（定量分析化学）	2前	0.5			○				1					
	物質の分離と定量Ⅰ（薬品分析学Ⅰ）	2前	0.5			○			1						
	物質の分離と定量Ⅱ（薬品分析学Ⅱ）	2後	0.5			○			1						
	分析技術の臨床応用（臨床化学Ⅰ）	3前	1			○			1			1			
	生体分子の解析	2前	1			○				1					
	有機分子の構造Ⅰ（有機化学Ⅰ）	1前	1			○			1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎薬学科目	有機分子の構造Ⅱ(有機化学Ⅱ)	1後	1			○			1	1					
	官能基の性質Ⅰ(薬化学Ⅰ)	2前	1			○			1	1					
	官能基の性質Ⅱ(薬化学Ⅱ)	2後	1			○			1	1					
	有機分子の構造決定(分子構造解析学)	3前	1			○				1					
	目的化合物をつくる(合成化学)	3後	1			○			1						
	生体分子のコアとパーツ(生物有機化学)	3前	1			○			1			1			
	医薬品のコアとパーツⅠ(メディナリグミストリ-Ⅰ)	3後	1			○			1						
	医薬品のコアとパーツⅡ(メディナリグミストリ-Ⅱ)	4前	1			○			1						
	有機化学から見た薬	6前	1			○			3	2		1			オムニバス
	自然が生み出す薬物Ⅰ(薬用植物学)	1前	1			○			1	1					
	自然が生み出す薬物Ⅱ(生薬学)	2前	1			○			1						
	細胞の構造と機能(生物学Ⅱ)	1前	1			○			1			1			
	体の構造と機能Ⅰ(機能形態学Ⅰ)	1前	1			○			1	1					
	体の構造と機能Ⅱ(機能形態学Ⅱ)	1後	1			○			1	1					
	感染症と微生物Ⅰ(微生物学Ⅰ)	1後	1			○			1						
	感染症と微生物Ⅱ(微生物学Ⅱ)	2前	1			○			1			1			
	細胞を構成する分子(生化学Ⅰ)	1後	1			○				1					
	生命活動とタンパク質(生化学Ⅱ)	2前	1			○			1	1					
	生命活動のしくみ(生化学Ⅲ)	2後	1			○			1						
	生命情報と遺伝子(分子生物学Ⅰ)	2前	1			○			1						
	遺伝子を操作する(分子生物学Ⅱ)	2後	1			○				1					
	生体の防御(免疫学)	3後	1			○				1					
	生体の情報伝達(生理化学)	3前	1			○				2					
	生命体と薬	6前	1			○			3	3		2			オムニバス
	薬学英語Ⅰ	2前	1					○	5	7		1			クラス分け
	構造から理解する有機分子(有機化学演習)	1後	1				○			2		1			
	薬学の基礎計算演習	1後	0.5				○			1	1	1			
	社会と薬学の基礎(討論学習Ⅰ)	1前	1					○		4		1			
	社会と薬学の臨床(討論学習Ⅱ)	3後	1					○		1	2	1			
	生物学実習	1後	1					○		1	1		1		
	物理化学実習	1後	1					○		1	2				
	薬品分析化学実習	2前	1					○		1	1				
	薬品化学実習Ⅰ	2前	1					○		1	1				
薬品化学実習Ⅱ	3前	1					○		1		1	1			
生薬学実習	2後	1					○		1						
微生物学実習	3前	1					○		1	1	1				
生化学実習	2後	1					○		1	1	1				
小計(55科目)	—	51	0	0			—		14	16		5	4		
専門科目	社会・集団と健康(公衆衛生学)	2後	1			○				1					
	栄養と健康(衛生化学Ⅰ)	3前	1			○			1						
	有害物質と生体(衛生化学Ⅱ)	3前	1			○				1					
	化学物質と毒性(衛生化学Ⅲ)	3後	1			○			1						
	生活環境と健康(衛生化学Ⅳ)	3後	1			○				1					
	予防薬学と社会薬学	6前	1			○			2	1		2			オムニバス
	薬の効くプロセス(薬理学・薬物動態学序論)	2前	1			○			2						
	薬理作用と副作用Ⅰ(薬理学・毒性学Ⅰ)	2後	1			○			2						
	薬理作用と副作用Ⅱ(薬理学・毒性学Ⅱ)	3前	1			○			2						
	薬理作用と副作用Ⅲ(薬理学・毒性学Ⅲ)	3前	1			○				2					
	薬理作用と副作用Ⅳ(薬理学・毒性学Ⅳ)	3後	1			○				2					
	最新薬理学	6前	1			○			2						
	副作用・相互作用	6前	1			○			1	1					
	製剤の基礎(製剤学Ⅰ)	2後	1			○				1					
	製剤設計(製剤学Ⅱ)	3前	1			○			1						
	薬物の体内動態(薬物動態学Ⅰ)	3後	1			○				1					
薬物動態の解析(薬物動態学Ⅱ)	3後	1			○				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	# 栄養科学	5後		1		○									兼任	
	# バイオインフォマティクス	5前		1		○									兼任	
	# 構造生物学とタンパク質工学	5後		1		○									兼任	
	# 食品安全学	5後		1		○									兼任	
	# 動物バイオテクノロジー	5後		1		○									兼任	
	# ゲノム創薬	5後		1		○									兼任	
	小計 (26科目)	—	0	25	0	—			6	11		8				
専門科目	総合科目	臨床実務事前実習	4	8				○								オムニバス
		臨床実務実習	5	20				○								
		卒業研究 I	4	4				○								
		卒業研究 II	5、6前	10				○								
		総合薬学演習 (討論学習Ⅲ)	5	2				○	1	1		2	1			
		薬学総括演習 I	4後	9				○								
		薬学総括演習 II	6	11				○								
	小計 (7科目)	—	64	0	0	—										
合計 (168科目)		—	179	35	0	—			18	16	1	10	6			
学位又は称号		学士 (薬学)		学位又は学科の分野			薬学関係									
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
教養必修科目12単位、教養選択科目5単位以上、専門必修科目163.5単位、専門選択科目5.5単位以上修得し、合計186単位以上修得すること。							1 学年の学期区分			2 学期						
							1 学期の授業期間			1 5 週						
							1 時限の授業時間			9 0 分						

: 応用生命科学部開講科目

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。